

次期中間処理施設整備事業「施設整備基本計画」に関する意見書

印西地区環境整備事業組合

次期中間処理施設整備事業

施設整備基本計画検討委員会 委員長 大迫 政浩 殿

1. 留意事項

- (1) 提出のあったご意見は、直近の施設整備基本計画検討委員会の会議に提出し、参考資料として活用させていただくほか、印西地区環境整備事業組合のホームページで公開させていただきますが、不当な圧力、個人や特定の団体に対する誹謗中傷、財産・プライバシー・著作権の侵害及び営利目的等の記述が含まれる場合は、当該提出及び公開をしません。
- (2) 匿名による意見提出が可能です。意見提出者（ご自身）の氏名等の公開を希望される場合は、提出年月日及び下記欄の末尾に当該個人情報をご記入ください。
- (3) 意見書は、この様式によるものの他、この様式に準じた任意様式でも結構です。
- (4) 意見記入欄が不足する場合は、適宜、用紙を追加してください。

2. 意見

平成27年7月17日提出
竹下建一（白井市在住）

第3回委員会資料につき以下の意見があります。ご検討下さい。

- 1) プラスチックごみのサーマルリサイクルについて
H25年3月に答申されたごみ処理基本計画では、プラスチックのサーマルリサイクルについては今後引き続き検討することになっていました。ところが今回提示された資料では、ごみ質としてプラスチックを含んだものと含まないものとの2種類が提示され、何の説明もなく、プラントメーカーへのアンケートはプラスチックをサーマルリサイクルするベースになっております。これではプラスチックをサーマルリサイクルするというのが決まったかのような印象を与えます。アンケートまでに検討の時間がないのなら、ごみ質についてそれなりの注釈をつけるべきと思います。またこのプラスチックのサーマルリサイクルについては本委員会でもご検討されるよう希望致します。
- 2) 公害防止基準について
委員会ではプラントメーカーへのアンケート調査をH23に策定された前回の施設設備基本計画検討委員会の自主規制値で行い、メーカーにそれ以上の達成が可能なら提案させるということになったと理解しています。前回の自主規制値で行う場合であればアンケート項目6の処理フロー図の触媒反応塔（触媒脱硝塔）の記載は不要ではないでしょうか。自主規制値のNO_x濃度100ppmは触媒脱硝塔なしで達成できる数値です。ところが最近の実績プラントでは実現可能な数値として、より厳しい規制値が適用され、非現実的な設備費、運転経費上昇は招いておりません。従いアンケートでの排出自主基準は、最近の他施設の基準値（例えばクリーンプラザふじみ、船橋北部清掃工場等）を適用し、問題があるようならメーカーに理由を出させるというスタンスでアンケートを取られたらどうでしょうか？一旦出た緩い基準が独り歩きするのを危惧しております。

3) メーカーへのアンケート項目について

- a. 可燃ごみの処理量が 37,893.96 t/年となっておりますが、施設規模 156t/日の算定ベースと一致しません。156t/日は 37,893.96 t/年に加えて、4,000 t/日の災害ゴミ、プラスチックごみを加えたベースでの算出です。計画ごみ質はプラスチックごみ込みになっているのとも思想が合いません。41,893.96 t/年とすべきと考えます。
- b. 用役費等単価を提出させるようになっていますが、単価だけでなく消費量を提出させないと意味がありません。また単価は最終的にはメーカーの提示ではなく、共通の価格を入れて評価すべきと思います。
- c. 純水設備用再生剤として亜硫酸ナトリウムとありますが、4 MPa 程度のスチームを発生させるための給水水質を得るには、イオン交換樹脂を強酸 (H₂SO₄ または HCl)、強アルカリ (NaOH) での再生が必要と思います。
- d. 設備費、配置に影響するものとして、ごみピット容量 (または貯留日数)、薬品タンク貯留日数は指定して出した方がよいと思います。
- e. 提出してもらった図書として、資料に述べてあること以外に下記の基本的設計図書を提出してもらった方がより適切に評価できると思います。
 - プロセスフローダイアグラム (主要な物質収支、熱収支)
 - 概略プロットプラン
 - 機器リスト (概略仕様を含む)

以上